第11表

インバランス収支計算書

平成２９年　４月　１日から
平成３０年　３月３１日まで

（単位　百万円）

費用の部		収益の部	
項目	金額	項目	金額
営業費用	20,516	営業収益	19,529
地帯間購入電源費	469	地帯間販売電源料	402
他社購入電源費	1,782	他社販売電源料	－
（インバランス対応取引費用）	－	（インバランス対応取引収益）	－
（インバランスの買取りに係る費用）	1,782	託送収益	3,690
社内取引費用	18,264	接続供給託送収益	3,690
（インバランス対応相当額取引費用）	3,553	（インバランスの供給に係る収益）	3,690
（インバランスの買取相当額取引費用）	14,711	（インバランスリスク料に係る収益）	0
		社内取引収益	15,436
		（インバランス対応相当額取引収益）	3,758
		（インバランスの供給相当額取引収益）	11,677
		（インバランスリスク料相当額取引収益）	39
営業利益（又は営業損失）	△ 987		

（脚　注）

1　財務諸表作成時点で、未確定のインバランス料金に係る精算額は、財務諸表及びインバランス収支計算書を含む送配電部門収支計算書等には計上していない。
　なお、平成29年度における確定額は、営業費用　20,617百万円（地帯間購入電源費　469百万円、他社購入電源費　1,840百万円、社内取引費用　18,306百万円）及び営業収益　19,582百万円（地帯間販売電源料　402百万円、託送収益　3,594百万円、社内取引収益　15,585百万円）である。

2　インバランス収支計算書におけるインバランスの供給に係る電力量は 1,504百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は 1,717百万kWhである。

3　平成29年度におけるインバランスの供給に係る電力量の確定値は 1,513百万kWh、インバランスの買取りに係る電力量は 1,722百万kWhである。

4　インバランスの供給に係る電力量及びインバランスの買取りに係る電力量については、集約期間における30分を単位とした同一の時間帯において、バランシンググループ毎の電力量を積み上げる方法で算出している。